LIXIL のグローバルな衛生課題の解決におけるインパクト算定：

2026 年 3 月期年次報告

対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月（FYE2026）

2025 年 3 月期（FYE2025）末時点で、LIXIL は約 8,200 万人の衛生環境の改善を報告しました。1 億人という目標の到達に向けて、2026 年 3 月期においては、ターゲットを絞った販売、パートナーシップの拡大を加速させるとともに、世界各地のパートナーと協力し過去のデータの体系的な見直しなどを行いました。

2026 年 2 月、LIXIL は 2025 年 12 月までに世界で 1 億人の衛生環境を改善するという目標を上回る成果を達成したことを発表しました。発表内容と結果の詳細、および世界各地でのインパクト創出に向けて連携したパートナーについては、こちらをご覧ください。また、2026 年 3 月期 第 4 四半期において、データおよびパートナーからの報告内容を詳細に検証した結果、2025 年 12 月までに約 1 億 300 万人の衛生環境を改善したことを確認しました。

2025 年 12 月時点の累積実績	FYE2025 時点	FYE2026 Q1-Q3	合計
総出荷量	9,445,084	611,861	10,056,945
インパクト累積値 ［リーチ数］	86,235,701	22,383,027	108,618,728
5%損失	*-4,311,785*	*-1,119,151*	*-5,430,936*
損失調整後のインパクト累積値 ［リーチ数］	**81,923,916**	**21,263,876**	**103,187,792**

2026 年 3 月期年次報告：本報告書は 2026 年 3 月期（FYE2026：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の通期サマリーとして、2025 年 12 月末までの報告内容を更新し、第 4 四半期（2026 年 1～3 月）の実績を追加したものです。

第 4 四半期においては、実績を検証するとともに、SATO 事業において追加販売および寄贈を実施し、さらなるインパクトを創出しました。その結果、2026 年 3 月期には、一般家庭および一般家庭以外のカテゴリーで新たに約 2,460 万人が計上されました。その内訳は、当期中に出荷された 947,500 台以上の SATO 製品による約 2,050 万人と、パートナー報告に基づく使用用途の更新による約 410 万人となります。**これらの報告を合算すると、2026 年 3 月までのインパクト累積値（リーチ数）は、60 の国・地域に出荷した約 1,040 万台の製品を通じて、推定 1 億 660 万人に達したことになります[1,2]。**

2026 年 3 月時点の累積実績 *（2025 年 12 月および Q4）*	**FYE2026 Q3 時点** （2025 年 12 月）	**FYE2026 Q4** （2026 年 3 月）	**合計**
総出荷量	10,056,945	335,707	10,392,652
インパクト累積値 ［リーチ数］	108,618,728	3,565,141	112,183,870
5%損失	*-5,430,936*	*-178,257*	*-5,609,193*
損失調整後のインパクト累積値 ［リーチ数］	**103,187,792**	**3,386,884**	**106,574,676**

2026 年 3 月時点の累積実績 *（FYE2025 時点および FYE2026）*	**FYE2025 時点**	**FYE2026**	**合計**
総出荷量	9,445,084	947,568	10,392,652
インパクト累積値 ［リーチ数］	86,235,701	25,948,169	112,183,870
5%損失	*-4,311,785*	*-1,297,408*	*-5,609,193*
損失調整後のインパクト累積値 ［リーチ数］	**81,923,916**	**24,650,760**	**106,574,676**

[1] 本結果は速報値であり、当社のインパクト算定手法に則り、2027 年 3 月期 第 1 四半期に追加で受領するパートナー報告に基づき、軽微な変更が生じる可能性があります。

[2] 本報告書に記載のインパクト数値はすべて整数に四捨五入しています。そのため、合計値が各数値の合算と一致しない場合があります。

当社のインパクト累積値の半数近く（45%）は、衛生ソリューションを利用する一般家庭によるもので、約 5,050 万人に相当します[3]。事業の成長に伴い、公共施設やコミュニティへの導入が進んだことでインパクトは大きく拡大しました。そのうち 6,170 万人（55%）は、学校、医療施設、地域および公共施設のトイレ、難民キャンプや国内避難民居住区、一時的・高頻度利用の公共施設を含む「一般家庭以外」の利用環境を通じてもたらしたものです。この数値は、SATO のビジネスモデルが当初の家庭用衛生設備に注力していた段階から、多様なニーズに大規模に対応する製品ポートフォリオを有するものへと進化したことを示しています。出荷量および調整の詳細な内訳は「別添 1」をご参照ください。

使用場所による累積実績

使用場所	FYE2025 時点	FYE2026	合計
一般家庭（または不明）	47,136,485	3,365,924	50,502,409
一般家庭以外	30,985,216	22,582,245	53,567,461
一時的・高頻度利用の公共施設	8,114,000	0	8,114,000
インパクト累積値 ［リーチ数］	86,235,701	25,948,169	112,183,870
5%損失	*-4,311,785*	*-1,297,408*	*-5,609,193*
損失調整後のインパクト累積値 ［リーチ数］	**81,923,916**	**24,650,760**	**106,574,676**

[3] 数値は損失調整前のインパクト累計を表しており、構成比に変更はありません。

今回の目標達成は終着点ではなく、さらなるインパクト拡大に向けた基盤となります。今後も、衛生市場が十分に確立されていない国や地域へのコミットメントを深め、安全な衛生ソリューションを最も必要とするコミュニティのために、イノベーションを起こし、強固なエコシステムを構築していきます。**2026 年 4 月、LIXIL はグローバルな衛生課題の解決に関する目標を更新し、2031 年 3 月期までに直接的・間接的なインパクトを通じて、さらに 1 億人の衛生課題改善を目指すことを発表しました**[4]。今後も引き続き安全な衛生環境へのアクセスの拡大、市場システムの強化、新技術の推進を行い、「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」という Purpose（存在意義）の実現に向けた取り組みを加速させていきます。

お問い合わせ先：LIXIL のインパクト算定・報告ガイドラインおよび進捗状況に関するご質問やご不明な点につきましては、pr_global@lixil.com までお問い合わせください。なお、本ガイドラインは英語版が正本で、日本語版は参考訳として作成されています。

[4] 2024 年 6 月のフレームワークを基盤とした改訂版の算定手法については、策定およびレビューを進めており、2026 年 12 月までに公開予定の 2027 年 3 月期第 1 回インパクト報告書とともに公開する予定です。新たな算定手法では、SATO 事業による直接的なインパクトを引き続き算定するとともに、パートナーと連携した市場構築とエコシステム強化における当社の取り組みのリーチとインパクトも反映していきます。

インパクト算定の詳細：2026 年 3 月期実績について

LIXIL の現在のインパクト算定手法は、2024 年 6 月に公開したガイドラインに基づいており、以下の要素を組み込んでいます。

(1) 関連する衛生製品の実出荷量および寄贈数

(2) 出荷量をインパクト（リーチ数）に換算するため使用場所に応じた乗数の適用（例：一般家庭、学校、難民キャンプ）

(3) 入手可能な場合は、パートナーから報告された実績データの使用

(4) 起こり得る損失や破損を考慮した上で、最終的な推定値から 5%を削減

2026 年 3 月期における損失調整前のインパクト累積増加分(D)の約 2,590 万人は、調整後数量(A)の算定と、使用場所に関するパートナーからの報告データによる調整(B)の反映によって算出されています。調整後数量(A)は、総出荷台数からセット製品として出荷されたもの（例：SATO Pan と V-Trap のセット）やインパクトに計上されないアクセサリー（例：アダプター）を差し引いたものです。2026 年 3 月期に出荷された 947,568 台のうち、21,253 台がセット製品またはアクセサリーであり、結果として調整後数量は 926,315 台となりました。下表の(B)欄に示すとおり、パートナーからの報告により、2026 年 3 月期において、以前は一般家庭用として分類されていた 12 万台が実際にはコミュニティ・公共施設、難民キャンプ、医療施設、または学校で使用されていたことが判明しました。これに基づき算出されたインパクト算定値(C)を用いて、当社の算定手法に沿って損失調整を行った上で、報告対象となるインパクト累積増加分(D)を算出しています。

2026 年 3 月期 使用場所に応じた数量およびインパクトの調整

使用場所	FYE2026 調整後数量 (A)	過年度の使用用途調整分 (B)	FYE2026 インパクト算定値 (C)	FYE2026 インパクト累積増加分 (D)
一般家庭 （または不明）	790,540	-120,000	670,540	3,365,924
コミュニティ・公共施設	1,500	1,360	2,860	285,124
一時的・高頻度利用の公共施設	0	0	0	0
難民キャンプ	9,080	89,847	98,927	4,119,562
医療施設	21,952	-201	21,751	5,435,481
学校	103,001	28,736	131,737	12,725,798
サンプル / デモ	142	-456	-314	0
家庭向け共用トイレ	100	714	814	16,280
合計	**926,315**	**0**	**926,315**	**25,948,169**
5%損失				*-1,297,408*
損失調整後のインパクト累積値 ［リーチ数］				**24,650,760**

2026 年 3 月期においては、損失調整後の実績として、約 1,380 万人の手洗い環境を改善し、約 1,090 万人のトイレを改善しました。当社では、インパクトを「手洗い」と「トイレ」のカテゴリー別に報告しており、それぞれの使用ケースが LIXIL 全体のリーチ数にどの程度貢献しているかを示しています。「手洗い」のカテゴリーでは手洗いステーション「SATO Tap」の販売または寄贈によるインパクトを算出、「トイレ」のカテゴリーでは「SATO Pan」や「SATO Stool」といったトイレ製品および「I-Trap」や「V-Trap」などのコネクションシステムを含む複数の SATO 製品によるインパクトを算出しています。その特性を考慮し 2025 年 3 月期報告より「一時的・高頻度利用の公共施設」というサブカテゴリーを新たに設けていますが、2026 年 3 月期においてはこの種の施設に関する報告事例はありませんでした。
以下の表には、2026 年 3 月期の出荷台数に加え、報告期間の 30 日以内に受領したパートナーからの報告に基づき調整した数値が含まれています。

2026 年 3 月期 使用場所・カテゴリー別インパクト

使用場所	手洗い	トイレ	合計
一般家庭	3,191	3,362,733	3,365,924
一般家庭以外	14,485,427	8,096,818	22,582,245
一時的・高頻度利用の公共施設	0	0	0
合計	**14,488,618**	**11,459,551**	**25,948,169**
5%損失	*-724,431*	*-572,978*	*-1,297,408*
損失調整後のインパクト累積値 ［リーチ数］	**13,764,187**	**10,886,574**	**24,650,760**

一般家庭や施設における持続可能な市場の創出

LIXIL は、グローバルな衛生課題を解決するために、普及拡大が見込める市場をベースとしたビジネスモデルを引き続き重視しています。消費者自らが衛生製品に投資することを選択した場合、その製品を継続的に使用し、衛生環境を適切に維持・管理していく可能性が格段に高まります。これは人びとが健康と尊厳を守っていく上で極めて重要な点です。低所得層のニーズに応じた手頃な価格で高品質な製品の提供に向けて市場を開発し維持することで、現地雇用の創出に寄与するとともに、起業家精神を育み、将来にわたって地域社会に貢献し続ける流通ネットワークを構築していきます。

商業販売の継続的な拡大と並行して、戦略的に製品を寄贈し、市場環境が異なる学校や医療施設などの各種施設における衛生製品へのアクセスを拡大しています。この両輪をバランス良く回していくことで、長期的に多数のユーザーにリーチし、さらに製品寄贈によって現地の小売市場では補えない需要をカバーするなどして、インパクトを最大化しています。このように当社は、製品寄贈を通じて、安全な衛生設備へのすみやかなアクセスを提供するとともに、より広範な市場エコシステムの構築に向けた認知と需要を高めています。2026 年 3 月期の実績は以下のとおりです：

- SATO 製品の総出荷台数 947,568 台のうち、91%にあたる 863,022 台が商業販売によるものであり、その大半は LIXIL が製造および流通において現地でのパートナーシップに投資している市場（ケニア、ウガンダ、タンザニア、インド、バングラデシュなど）で販売されました。LIXIL は、小売業界の活性化、消費者マーケティング、販売に関する専門的なトレーニングへの継続的な投資を通じて SATO 製品のサプライチェーンを確立してきました。その背景には、市場での製品の普及・拡大や、持続的な流通ネットワークの構築、そしてすべての人にとって手頃な価格で魅力的かつ利用しやすい安全な衛生ソリューションを実現するという目的があります。

- パートナーへ寄贈または戦略的に提供された SATO 製品 84,546 台のうち、50,628 台（60%）が学校向け、21,952 台（26%）が医療施設向けであり、これらが全体の 86%を占めています。主な事例は以下のとおりです：
    - ルワンダでは全土において学校の設備改善を加速させ、地域市場を活性化させるため、現地政府の衛生環境改善の目標やパートナーのプログラムを支援し、国内全域の幼児教育施設に「SATO Pan」と「SATO Tap」をそれぞれ 15,000 台ずつ提供しました。フィリピンでは、現地パートナーを通じて、学校へ 5,300 台の「SATO Tap」を配布しました。
    - アンゴラでは、現地パートナーとの調整役を担うユニセフとの緊密な連携のもと、医療施設に設置する 11,500 台の「SATO Tap」を提供しました。

パートナーからの報告に基づくインパクトの調整

2024 年 6 月に公開した当社のインパクト算定手法では、インパクトをより正確に算定するために、パートナーから報告された情報を反映するよう変更しました。この手法のもと、当社はパートナーから報告を受け、その分析に継続的に取り組んでいます。1 億人という目標の達成が近づく中、LIXIL は世界各地のパートナーと緊密に連携し、体系的なデータの共有、各国の営業部門との協力、および過去データの徹底的な見直しを通じて、インパクトの検証と記録を行ってきました。パートナーからの報告がない場合や詳細が不足している場合、あるいは一部の製品が未配布のままであると判断した場合には、追加の分析を実施し記録しました。これにより、インパクト算定手法に定める乗数、または追加分析から導き出された数値に基づき、最も妥当かつ保守的なインパクト算定となるよう調整を行いました。この協働による検証プロセスは、正確性を追求する当社の姿勢を示しています。製品が最終的にどのように使用されているのかという点で、最も信頼できる情報を持っているのは現地のパートナーであるという認識のもと、この取り組みを行っています。

2026 年 3 月期において、主にパートナーからの報告に基づき、94 件（20 万台以上に相当）のインパクト調整が行われ、インパクト累積値の精度が大幅に向上しました。さらに、2026 年 3 月期の結果に反映されたインパクト調整の多くは、製品はすでに設置済みであったものの、最近になって検証された事例によるものです。これは、当社の取り組みによるリーチ数を完全に把握する上で、強固なデータシステムと現地との連携がいかに重要であるかを裏付けています。以下は、2026 年 3 月期におけるインパクト調整の一例（一部抜粋）です：

- ケニアのパートナーから 2025 年 6 月に受けた報告により、以前は一般家庭に設置されたとして算定していた LIXIL の寄贈製品 2,000 台が、最終的にはダダブおよびカクマの難民キャンプに設置されていたことが判明しました。これにより、当社の推定インパクトは 289,340 人増加しました。

- 2025 年 7 月には、一般家庭で使用されていると想定されていた約 75,000 台の SATO 製品が、バングラデシュのコックスバザールにある難民キャンプに設置されていたことが判明しました。この数値は、キャンプ周辺で活動する現地のトイレ関連事業者の販売データに基づいています。
    - 難民キャンプにおける当社の標準的な乗数である「1 台あたり 150 人」を適用すれば、算出は容易であり、報告上のインパクトは大幅に増加します。しかし、その場合、人口統計や難民キャンプの実態のデータと照らし合わせた際に、リーチ数を過大評価してしまっていると判断しました。
    - SATO 事業部メンバーによる現地訪問、コックスバザールでの水と衛生に関連する活動に精通したパートナーへのヒアリングおよび公開データの精査を経て、正確性を優先した結果、より保守的な「1 台あたり 25 人」という乗数を採用しました。さらに、二重計上を避けるため、一般家庭用として算定していたインパクトを除外した結果、1,499,538 人の増加となりました。
- ルワンダについては、LIXIL の「学校トイレ改善プログラム（STEP）」を通じて寄贈した 38 台を記録に反映しました。学校に設置されたこれらの製品によって、新たに 3,602 人にリーチしたことになります。さらに、5 月にはパートナーから追加で 997 台の SATO 製品が学校に設置されたと報告されており、そのリーチ数は 94,516 人に上ります。
- 過去のインパクトを再評価するというアプローチに基づき、インドにおいてもインパクトの調整を行いました。LIXIL は、同国において 20 以上の現地パートナーと連携し、2020 年 3 月期から 2024 年 3 月期にかけて、主に SATO Tap および V-Trap 付きの SATO Pan など、42 万台以上の製品を寄贈しました。その大半は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックへの対応として行われたものであり、継続的なレジリエンス（回復力）強化と復興に向けた取り組みを支援するための追加配布も含まれます。
    - 当時は大規模な配布に加え、多数のパートナーが関与しており、しばしば困難な状況下にあったため、2026 年 3 月期において、当社は過去のやりとりの精査やパートナーへのフォローアップを通じて、これら寄贈品の配布状況をさらに確認するよう努めました。
    - その結果、303,580 台については、少なくとも地区レベルまで配布されたことが現地パートナーによって確認されました。また、寄贈された 424,980 台のうち 115,400 台については、一般家庭および一般家庭以外の場所への最終的な配布が確認できる、より具体的な報告を得ています。
    - 一方、あるパートナーからは、2024 年 3 月期に寄贈された 6,000 台が、プログラム実施上の課題により未だ配布されていないとの報告がありました。これらの製品をインパクト算定から除外した結果、最終的な数値は 34,740 人（以前は一般家庭での使用として計上）の下方修正となりました。

- また、2025 年 3 月期および 2026 年 3 月期においても、インドにて、現地生産に向けた新たなパートナーシップの立ち上げに先立ち、現地の販売代理店や小売店と連携し、未販売の製品在庫を回収する「買い取り（バイバック）」スキームを導入しました。その結果、過去のインパクトを再評価するプロセスにおいて、この期間中に 42,465 台が流通から回収されたと判断しました。これらの製品は一般家庭で使用されるものとして分類されていたため、これに伴い推定リーチ数を 245,872 人削減しました。

なお、LIXIL のインパクト算定手法では、パートナーから報告された最新のデータを反映することを目指しており、グローバルレベルでの配布状況の不確実性やその他の課題を考慮した上で、インパクトの総計から一律 5%を削減（損失調整）しています。

展開地域の拡大

2025 年 3 月期時点で、SATO 製品は 46 の国・地域に展開されていました。2026 年 3 月期には、パートナーと連携し、新たにアンゴラ、ブルンジ、ホンジュラス、ヨルダン、ナミビア、ポーランド、ソロモン諸島、南スーダンの 8 ヵ国へと事業を拡大しました。さらに、インパクトの算定については、生産現場での作業報告書やパートナーが管理する配送データ、過去の寄贈記録を照合することで、より包括的な検証プロセスを実施しました。これは、衛生環境を改善するという目的のために出荷された SATO 製品すべての目的地を、報告に正確に反映させるためです。

2026 年 3 月期に追加された国・地域	出荷台数	初回出荷年度
アンゴラ	11,500	2026 年 3 月期
ブルンジ	111	2026 年 3 月期
コンゴ共和国	3,204	2018 年 3 月期
ガザ	19,650	2025 年 3 月期
グアテマラ	1,600	2024 年 3 月期
ギニア	10,000	2025 年 3 月期
ホンジュラス	3,181	2026 年 3 月期
ヨルダン	1,500	2026 年 3 月期
レソト	18,400	2025 年 3 月期
モンゴル	51	2024 年 3 月期
ナミビア	9,600	2026 年 3 月期
ポーランド	20	2026 年 3 月期
南スーダン	197	2026 年 3 月期
ソロモン諸島	15,000	2026 年 3 月期
スーダン	3,150	2018 年 3 月期

今回の精査は、データの正確性と透明性の高い報告に対する当社の継続的な取り組みを反映するものです。この精査を通じて、SATO 製品が使用を目的として受領されていたものの、これまでのインパクト報告には反映されていなかった 7 の国・地域が新たに特定されました。また、ジブチについては、本来はエチオピア向けに出荷された製品の最終目的地として誤って記録されていたため、リストから除外しました。その結果、SATO 事業を展開する国・地域の数は最終的に 14 の純増となりました。

これらの数値を反映すると、2026 年 3 月期末時点で、SATO 製品は使用を目的として、世界中の合計 60 の国・地域へ出荷されたことになります。上表は、SATO 製品の出荷先として新たに特定された 15 の国・地域の詳細を示しており、そのうち 8 ヵ国は 2026 年 3 月期の出荷に基づくもの、残る 7 ヵ国は過年度の出荷によるものです。SATO 事業の展開地域に関する詳細は、別添 2 をご参照ください。

ユニセフとのパートナーシップによる直接的および間接的インパクトに関する注記

当初の算定手法で示したとおり、LIXIL は世界中の衛生環境へのアクセス向上に向けた取り組みに関するさらなる知見を提供するため、ユニセフとのパートナーシップ「MAKE A SPLASH!（以下、MaS!）」による直接的および間接的なインパクトを報告しています。「MaS!パートナーシップ進捗報告書（2025 年 8 月）」において、当社は 2024 年に新たに約 350 万人（直接的インパクト：約 150 万人、間接的インパクト：約 200 万人）にリーチしたことを報告しました。これにより、ユニセフとの協働によるインパクトの累計は1,630万人となりました。「MaS!パートナーシップ進捗報告書（2025〜2026年）」は、2026 年 8 月までに公開予定です。

*「MaS!の直接的インパクト」*とは、ユニセフと LIXIL の「MaS!」パートナーシップにおいて創出された衛生市場において、SATO 製品の直接販売、またはトイレや手洗いソリューションなどを直接的に提供した結果として生じるものを指します。以前は、MaS!の直接的インパクトのうち、何割が SATO の販売によるもの（上記の出荷台数に基づくインパクト分析にすでに含まれているもの）で、何割が MaS!パートナーシップへの投資によるその他の直接的なインパクトなのかを区別できませんでした。2024 年の報告データでは、約 150 万人の直接的インパクトのうち、528,000 人が 88,000 台の SATO 製品の設置によるものであり、これは上記の当社分析にすでに反映されている可能性が高いと推定されています。また、さらに 132,000 人[5]については 22,000 台の他社製品などの設置によるもの、840,000 人については手製のトイレまたは SATO 製品を含む可能性のあるその他のソリューションによるものと推定されます。

[5] MaS!の第 3 フェーズにおいて設置された 11 万台の衛生製品のうち、88,000 台は SATO 製品であり、残りの 22,000 台は他社製品でした。LIXIL インパクト算定手法を用いて、これら 22,000 台を一般家庭での利用と仮定し、当社の標準的な乗数である 6 を適用しました。これにより、MaS!の直接的なインパクトについて、最も保守的な推定値が得られました。このインパクトは、当社の 2025 年目標には含まれません。

これらは MaS!パートナーシップによる追加的な直接的インパクトとみなされ、同報告書には含まれていますが、現在のインパクト算定手法との整合性を保つため、当社が掲げる「1 億人の衛生環境改善」という目標に向けたインパクトの算定には含まれません。

*「MaS!の間接的インパクト」*とは、MaS!の実施対象地域外などで実施される衛生管理システムの強化に向けた活動の結果として、衛生環境が改善された人びとの増加分を指します。その数値は、ユニセフが推定する直接的インパクトとの整合性を確保するため、ユニセフの算定手法を用いて決定されます。間接的インパクトの一例として、タンザニアの事例が挙げられます。同国では、MaS!を展開する 2 つの重点地区で実施した活動が、後に政府によって他の地域でも採用されたことにより、間接的インパクトをもたらしました。また、ナイジェリアでは、MaS!を重点的に実施する州で支援を受けたトイレビジネスの事業者（オーナー）が、新たな地域へと事業を拡大しました。これを受け、MaS!では同取り組みによるインパクトの算定カテゴリーを直接的インパクトから間接的インパクトへと変更しました。ユニセフとの MaS!パートナーシップによる 2024 年までの間接的インパクトの累計は、620 万人と推定されています。なお、本パートナーシップによる間接的インパクトも、2025 年 12 月までの「1 億人の衛生環境改善」という目標に向けたインパクトの算定には含まれません。2031 年 3 月期までにさらに 1 億人**の衛生課題改善を達成する**という目標に向けては、前段落で述べた SATO 以外の製品による直接的インパクトおよび本パートナーシップによる間接的インパクトの双方が、累積実績に含まれます。

別添 1：数量およびインパクト調整の詳細（2026 年 3 月期時点）

	FYE2020	FYE2021	FYE2022	FYE2023	FYE2024	FYE2025	FYE2026
総出荷量	1,167,583	1,253,025	1,374,839	1,014,973	1,122,571	834,271	947,568
累積出荷量	3,845,405	5,098,430	6,473,269	7,488,242	8,610,813	9,445,084	10,392,652
累積インパクト報告値	**31,494,196**	**41,438,317**	**55,746,457**	**60,417,740**	**67,926,496**	**81,923,916**	**106,574,676**
インパクト算出のための数量調整：二重計上・同梱品の除外［単位：台］							
I-Trap、V-Trap など コネクションシステムの二重計上 *（SATO Pan、Stool とセットで販売されている場合は除外）*	-51,024	-28,132	0	-33,985	-31,816	-8,037	-7,667
その他の構成部品（フットレスト、アダプター、コレクションボックス）	-138,725	-109,723	-45,313	-72,782	-36,187	-9,942	-13,586
調整後の数量	977,834	1,115,170	1,329,526	908,206	1,054,568	816,292	926,315
インパクト算出のための数量調整：製品が使用されている場所［単位：台］							
一般家庭 （または不明）	861,374	1,268,310	1,037,678	904,942	1,031,658	787,410	670,540
コミュニティ向け公共トイレ	0	0	0	0	0	517	2,860
一時的・高頻度利用の公共施設	0	0	0	0	0	8,114	0
難民キャンプ	0	2,421	2,300	0	0	8,000	98,927
医療施設	0	522	0	0	0	44	21,751
学校	64,000	5,772	90,000	0	22,260	11,692	131,737
家庭向け共用トイレ							814
サンプル / デモ	0	0	0	0	0	515	-314
インパクト補正値 ［単位：リーチ数］							
一般家庭 （または不明）	4,690,912	8,486,796	5,716,200	4,917,140	5,677,953	4,299,761	3,365,924
コミュニティ向け公共トイレ	0	0	0	0	0	51,815	285,124
一時的・高頻度利用の公共施設	0	0	0	0	0	8,114,000	0
難民キャンプ	0	121,050	345,000	0	2,226,000	1,200,000	4,119,562
医療施設	0	1,305,000	0	0	0	11,000	5,435,481
学校	6,400,000	554,650	9,000,000	0	0	1,057,550	12,725,798
家庭向け共用トイレ	0	0	0	0	0	0	16,280
サンプル / デモ	0	0	0	0	0	0	0
補正後のインパクト合計値	11,090,912	10,467,496	15,061,200	4,917,140	7,903,953	14,734,127	25,948,169
補正後のインパクト累積値	**33,151,785**	**43,619,281**	**58,680,481**	**63,597,621**	**71,501,574**	**86,235,701**	**112,183,870**
5%損失	*-554,546*	*-523,375*	*-753,060*	*-245,857*	*-395,198*	*-736,706*	*-1,297,408*
損失調整後のインパクト合計値	10,536,366	9,944,121	14,308,140	4,671,283	7,508,755	13,997,420	24,650,760
損失調整後のインパクト累積値 ［単位： リーチ数］	**31,494,196**	**41,438,317**	**55,746,457**	**60,417,740**	**67,926,496**	**81,923,916**	**106,574,676**

別添 2： SATO 展開地域 （2026 年 3 月期）

アフリカ （35 の国・地域）
アンゴラ*、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ*、カメルーン、コモロ、コンゴ共和国*、コートジボワール、コンゴ民主共和国（DRC）、エチオピア、ガーナ、ギニア*、ギニアビサウ、ケニア、レソト*、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ナミビア*、ニジェール、ナイジェリア、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソマリア、南アフリカ、南スーダン*、スーダン*、タンザニア、トーゴ、ウガンダ、ザンビア
米州（8 の国・地域）
ベリーズ、ボリビア、ブラジル、グアテマラ*、ハイチ、ホンジュラス*、ペルー、アメリカ合衆国
アジア （16 の国・地域）
バングラデシュ、ブータン、カンボジア、フィジー、インド、インドネシア、ヨルダン*、モンゴル*、ミャンマー、ネパール、ガザ*、パプアニューギニア、フィリピン、ソロモン諸島*、タジキスタン、ベトナム
欧州 （1 つの国・地域）
ポーランド*
合計： 60 の国・地域 *2026 年 3 月期において SATO 製品の出荷先として新たに追加された 15 の国・地域

注：展示や調査のために SATO 製品が出荷された次の 7 ヵ国は、使用を目的としたものではないため、インパクトの実績には含まれていません：日本、オランダ、スウェーデン、スイス、ウクライナ、英国、ウズベキスタン。また、2026 年 3 月期において、出荷記録の精査を行った結果、製品の最終到着地が実際にはエチオピアであったことが判明したため、ジブチをリストから除外しました。